

令和3年度 第3回ユニバーサル都市・福岡推進協議会 議事要旨

1 日時:令和4年3月29日(火) 15時30分 から 17時 まで

2 場所:本庁9階 顧問室(オンライン開催)

3 出席者:

定村委員長、平井副委員長、
荒牧委員、猪野委員、郷原委員、シグデル委員、
清水委員、張委員、関根委員、吉住委員
(欠席者:藤委員、松浦委員)

4 開会

5 議題

・事務局より、資料に基づき内容を説明

委員からの主な意見

<(1) 令和3年度 福岡市の取組み状況について>

- ・「ユニバーサル都市・福岡 PR サポーター」のバリカタキッズによる普及・啓発動画については、字幕に加え、音声解説も入れると、よりユニバーサルデザインに配慮したものになる。
- ・今回の「ユニバーサル都市・福岡 PR サポーター」の活動を見て、子どもの視点からユニバーサルデザインを広報するのは効果的と感じた。今後もぜひ継続して取組みが出来れば良い。また、今後改定する副読本についても、学習に活用する小学生と、同年代の子どもに語ってもらうようなストーリー仕立てであれば、受け入れやすいのではないだろうか。
- ・今後改定する副読本のイラストのデザインは、いかに子どもたちに親しみやすいデザインにするかが重要。小学生たちの意見を取り入れたものにてできると良いのではないか。
- ・ジオターゲティング広告や公式インスタグラムを活用して行った“写真展”については、市民の興味・関心につながる良い取組みだったと考える。今後も活用していくべき。

<(2) 令和4年度 福岡市の取組み(案)について>

- ・ベンチプロジェクトは、民地への設置における補助に加えて、令和4年度、大幅に設置数を増やすということで良い流れと考える。どんどん広がっていけば良い。
- ・視覚・聴覚障がい者の相談対応のために、各区にタブレット端末を配置するということだが、可能であれば、今後、天神の観光案内所等、区役所以外の市民が利用する場所でも、活用していければ効果的と考える。
- ・出前講座などにおいては、障がいのある当事者が語ると、障がいに対する理解が進み、ユニバーサルデザインについてより効果的に伝わるので、市職員と当事者が連携して普及啓発を行う機会があると良い。
- ・「ユニバーサル都市・福岡」の担当部署に、障がいのある方を配置することで、より障がいに対する理解が進むのではないだろうか。
- ・障がい者施設工賃向上支援事業については、市内の民間事業所の中にも優秀な事業所があるので、そういった事業所のノウハウも取り入れて、目標を超える工賃向上につなげていければ良いと考える。
- ・商工会議所では、経済観光文化局と共催で、市内の中小企業に就職する新入社員を対象とした研修を行っており、その際に資料配布などにより「ユニバーサル都市・福岡」の普及・啓発を行うことも可能。

6 意見交換

- ・市民局生活安全部防犯・交通安全課より、資料に基づき内容を説明

委員からの主な意見

<自転車の走行マナーについて>

- ・留学生が通っている日本語学校などへのマナーアップ啓発ポスターの掲示や、福岡市に住む外国人グループの SNS への情報発信も、マナーアップに効果的と考える。
- ・1月に We Love 天神協議会と博多まちづくり協議会の共催で、自転車安全利用についてセミナーを開催した。セミナーの様子は YouTube で閲覧可能だが、情報の周知がなかなか進まなく課題と感じている。また、今後は、市民に強くPRする街頭指導の実施なども検討していきたい。

- ・自転車の走行マナーの向上については、行政による普及啓発は限界があると思うので、エリアマネジメント団体とも連携すると良い。
- ・行政や警察には、自転車の走行マナーについて、大きな社会問題として認識してもらい、啓発だけではなく、もっと踏み込んで考えてほしい。実際に障がいのある方や高齢者は非常に危険な思いをしている。また、天神や博多のみならず、福岡市のまち全体で危機感を持って対応してほしい。
- ・啓発も大事だが、それだけでは自転車事故は減らないので、神戸市の取り組み（自転車専用レーンの積極的な整備を前提としてしたうえで、事故発生時に原因を追究し対策を検討）などを参考にして、ハード・ソフト両面から対策を進めていくことが、効果的と考える。
- ・フィックス・マイ・ストリート（道路の不具合等について、スマホのアプリを使って写真と地図情報付きで通報できるサービス）のように、自転車マナーの向上に向けた情報を共有できる仕組みがあれば良い。

7 閉会